［有明抄］（2018.5.14）

○（日本）三大○○を調べてみよう。

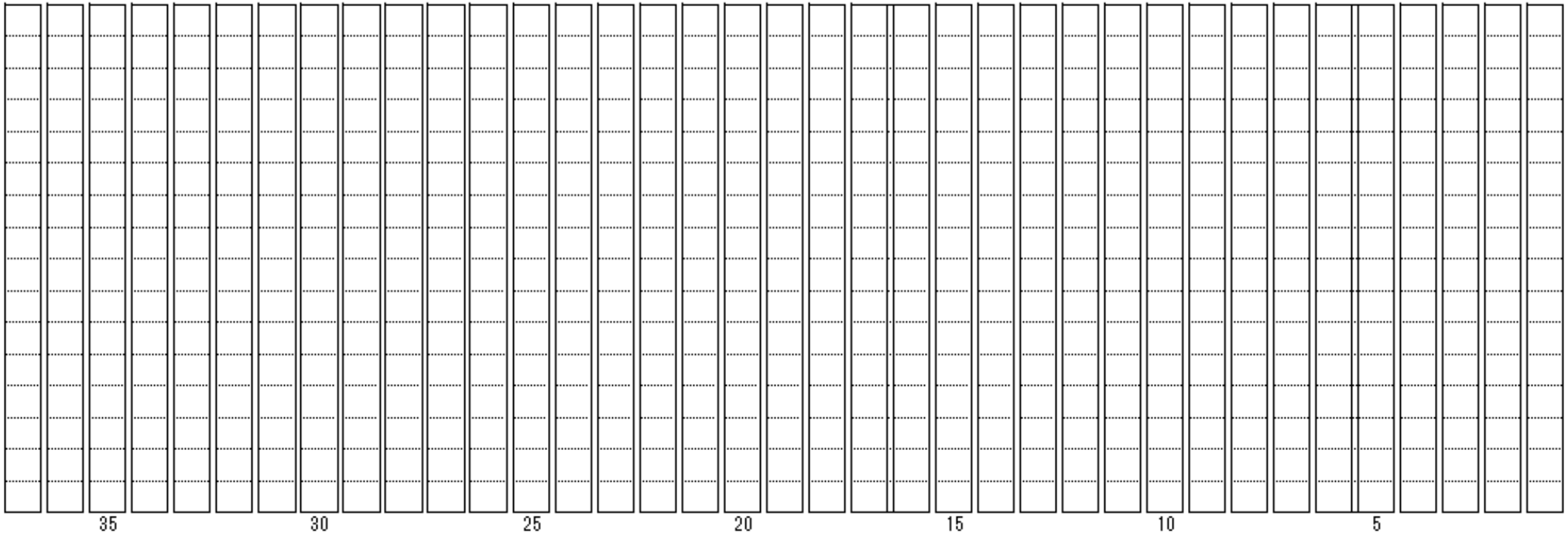
○戊辰戦争の時の武雄と秋田の縁について調べてみよう。

関連記事　佐賀新聞 2018 年5月 13 日付 22 面、同 2017 年 12 月2日付 13 面

佐賀新聞社編『佐賀維新前夜』佐賀新聞社（平成 30 年5月1日）　p198-p201

年　組　号（氏名）

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

それにしても武雄の夜は熱かった。おとといの「秋田竿燈まつり」。沿道は人、人、人。武雄の街をこれほどの観衆が埋め尽くしたのは見たことがない。市は8万人と発表したが、それ以上ではなかったか◆「青森ねぶた祭」、「仙台七夕まつり」と並ぶ東北三大祭りのひとつ。祭り好きとしては見に行かない手はない。「どっこいしょー」「どっこいしょ」の掛け声。竹に提灯を提げた5本の竿燈が夜空に浮かぶ。黄金の稲穂に見立てた竿燈が揺れる度に、思わず「オーッ」と声を上げてしまった◆昨年のちょうど同じ時期。ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、山や鉾が福岡市に結集したのを思い出した。唐津くんちの曳山「酒呑童子と源頼光の兜」、大分の日田祇園の山鉾、北九州の戸畑祇園山笠…。武雄の夜は、この時の光景をほうふつとさせた◆今回のイベントは戊辰戦争（1868～69年）が縁。「秋田藩の援軍として武雄から駆けつけた兵士が犠牲になった。その冥福を祈り、感謝の気持ちを込めて演技しています」と会場アナウンス。竿燈には大小あるそうだが、一番大きな「大若」と呼ばれる高さ12㍍の竿燈がやってきて、秋田の心意気を見せた◆明治維新150年の記念行事。先人たちが導いた縁と、この夜の熱気と感動。きっと武雄の人たちは忘れないだろう。（丸）